

第 3 回キャリア支援交流会報告

2020 年 4 月 2 日

このたび、京土会のご支援、ご協力を賜り、第 3 回京土会女性の会キャリア支援交流会を無事に開催することができましたのでご報告申し上げます。

今回で 3 回目となる交流会は 2019 年 11 月 9 日（土）の午後、京都大学桂キャンパス C クラスターの人融ホールにて開かれました。本年は、登壇者・卒業生 9 名、学生 7 名の総勢 16 名が参加してくださいました。前回と比べると少ない参加者数ではありましたが、登壇して下さった方々を囲み、就職先による働き方の違いや、現在の研究や研究室生活の話など、現役学生と OB/OG の間で有意義な懇親の場を持つことができました。

第 1 部座談会では、例年通り島田洋子先生（都市環境工学専攻・准教授）から女子学生の研究環境や進路についてお話し頂きました。女子学生も男子と同様にほぼ全ての業種に就職していて、比較的慎重に修士への進学や就職を検討する学生が多い印象であるということでした。

次に、現在、京大土木系で唯一の女性・外国人教授としてご活躍中のアナ・マリア・クルス先生をお迎えし、「Career development in different countries」と題するお話を頂きました。先生はご自身のキャリアについて「とても例外的」としつつ、異なる国々や組織での仕事、あるいはご家族との生活の両立について、具体的なお話を頂くことができました。

その後、ラウンドトーク「わたしの働き方」と題し、各界に進まれた卒業生 3 名にお話を伺いました。稲岡美紀さん（H11, H13 JICA 勤務）からは、JICA を勤務先として選んだ理由やアフガニスタンなどアジア諸国でのお仕事振りをお話し頂きました。次に、大西絢子さん（H13, H15 竹中土木勤務）からは、キャリアの歴史と現在の仕事、さらに 2 人の子どもの母としてプライベートと仕事の関係をお話し下さいました。森勇樹さん（H21, H23 JR 西日本勤務）は、鉄道会社の業務の他、採用プロセスや女性社員が会社について語る様子を動画で流して下さるなど、身近な声を伺うことができました。会を通じてご参加頂いた京土会会長の米田稔先生からは、共働きのご家庭の経験談も交えながら、椿の会の取り組みを応援して下さいの旨のメッセージを頂きました。

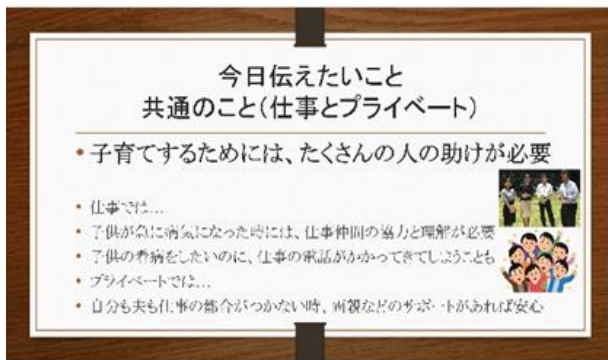


交流会にご参加いただいた登壇者、卒業生、学生のみなさん

第 2 部の茶話会では、登壇者を学生が囲み、海外勤務の裏話や就職活動への臨み方などを話しながら、楽しいひとときを過ごしました。

開催に際して京土会、教室の各先生より頂いたご支援、ご助言に心よりお礼を申し上げます。今後ともどうぞ指導、ご支援、ご協力をいただきたく、お願いを申し上げます。

発起人一同 山田菊子 (H1, H3) / 松田曜子 (H14, H16, H19) / 澤田茉伊 (H18, H20, H28)



大西さんの発表スライドより



登壇者とのディスカッション



卒業生の講演



茶話会